

平成24年度

「山の地図を読む」＋春の市民ハイキング報告

渋谷

日程：机上講習 4月21日（土） 北浦和バスターミナル 3F第一・二会議室
実技講習 4月22日（日） 奥武蔵・ユガテ周辺（春の市民ハイキング）

参加者：机上 68名（申込者全員受講）
実技 37名（抽選）

多くの方の参加を頂き有難う御座いました。

今年は、山の地図を読んで、春のハイキングを楽しむ企画で開催しました。

机上では一般教養より地図とコンパスの扱い方、読み方を重点に机上を行いました。

机上講義のおかげで、実技＝ハイキングでは地図とコンパスの使い方を習得された方が、以前に比べて高かったように感じられました。

<机上講習>

地形図に記載されている情報、真北と磁北との違い、コンパス使用の注意点、地図とコンパスの利用（①進行方向の確認、②現在地の確認、③山座同定＝目標物の確認）を講義しました。

「道迷い」をしないために、計画時点でコース（方向、距離、高低、注意点等）を地図とガイドブックで知ること。

「道迷い」を最小限にするためには計画のコースから外れるギャップをいち早く感知すること。

「現在地を知る」ためには、既知の地点からの歩いた距離（水平・垂直の歩測）を知ること、そして地図とコンパスから、現在地の確認を行う演習を行った。

講義では、会場を明日の現地に仮想（自分が駅、部屋の四隅を目標物＝山）して講義を行いました。

<実技講習>

天候は1日雨の予報にも関わらず、午前中は小雨程度で遠望も多少できたのでほっとしました。

東吾野駅前では2地点を想定して地図とコンパスで「進行方向の確認」を行いました。

登山中は見渡せる山・建物を想定して「現在地の確認」「山座同定＝目標物の確認」を実習し、現在地の確認ができたこと、遠くの山座同定＝名前が判明したことで、手法が理解され喜ばれました。

実際に道で迷う時は見渡しが利かない林やガスの中であり、この場合には自分で歩いてきた地形・時間・距離・周囲の地形・樹形と重ね合わせて現在地の確認をすることが最も重要であることを教えました。

昼食はユガテで、昨年と同じく枝垂れ桜の下で美味しいお弁当を広げました。

午後には雨の本降りを予想しコースを変えて早々に下山をし、武蔵横手駅に着く直前には本降りとなり、胸を撫で下ろしました。

今回はどうにか天気は持ちましたが、今後のために大雨の場合の対処を考えておく必要があります。